

東京都北区立学校における 「二学期制」検証結果報告書



令和4年（2022年）3月
東京都北区教育委員会

東京都北区立学校における「二学期制」検証結果報告書

令和4年3月発行

刊行物登録番号
3-1-135

印刷 会社名 株式会社王文社
住所 東京都北区王子本町2丁目5番4号
電話 (03) 3908-5461

発行 東京都北区教育委員会事務局教育振興部教育指導課
東京都北区滝野川二丁目52番10号
電話 (03) 3908-9287

目 次

1 北区における「二学期制」導入の経緯	2
2 「二学期制」の試行実施にあたって整理した3つの観点	3
3 「東京都北区二学期制検証委員会」の設置	5
4 「二学期制」検証のためのアンケート調査の実施	6
5 アンケート実施結果と考察	7
6 検証委員会における主な意見	28
7 まとめ	32

【参考資料】

- ① 東京都北区立学校二学期制検証委員会設置要綱
- ② 東京都北区立学校二学期制検証委員会委員名簿
- ③ 東京都北区立学校二学期制検証委員会スケジュール及び検討項目
- ④ 北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート
 - 教員対象（幼稚園・こども園、小学校、中学校）
 - 保護者対象（幼稚園・こども園、小学校、中学校）
 - 学校評議員対象（小学校、中学校）
- ⑤ リーフレット「平成18年4月から北区立小・中学校及び幼稚園で二学期制が始まります」（平成17年11月 東京都北区教育委員会）

1 北区における「二学期制」導入の経緯

平成14年（2002年）、完全学校週5日制の開始とともに、「総合的な学習の時間」の創設やゆとりの中での「特色ある教育」の展開、そして、子どもたちの「生きる力」の育成を基本的なねらいとする改訂学習指導要領が実施されました。

平成15年（2003年）10月の中央教育審議会答申においては、改定学習指導要領のねらいの一層の実現を図るための具体的課題の一つとして「教育課程を適切に実施するために必要な指導時間の確保」が挙げられました。

また、子どもたちの「生きる力」を育むため、教科等の基礎的・基本的な内容の定着と自ら学ぶ態度や能力の育成を図るとともに、児童・生徒一人一人には時間的・精神的な「ゆとり」、教員には児童・生徒一人一人の学習活動をゆっくり見守り、励まし、援助するなどの「ゆとり」が求められました。

しかしながら、当時は「三学期制」のもとで、子どもにも教師にも必ずしも十分な「ゆとり」があったとはいえ、**「生きる力」を育む教育への質的転換が模索されていた時期でもあったため、「ゆとり」や「指導時間の確保」に資すると考えられる「二学期制」の試行や導入に取り組む自治体も見え始めていました。**

このような経緯を踏まえ、北区教育委員会は、平成15年度（2003年度）と平成16年度（2004年度）、**「二学期制導入の基本的考え方」として整理した3つの観点に基づき、区立小・中学校計5校で「二学期制」を試行実施し、平成17年度（2005年度）にその結果を取りまとめました。**

そのうえで、北区の特色である「学校ファミリー」における諸行事や地域行事なども考慮し、兄弟姉妹が同じ学期制を採用することが望ましいものと判断して、北区では、区立幼稚園も含めたすべての区立小・中学校、幼稚園において、平成18年度（2006年度）から「二学期制」を一斉に導入することにしました。

2 「二学期制」の試行実施にあたって整理した3つの観点

平成15年度から平成17年度までの間、以下の3つの観点（基本的考え方Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）に基づき試行、研究、検討を行い、この観点の実現により期待される効果を以下のとおり整理しています。

■ 基本的考え方 Ⅰ

一つの学期を長期的なサイクルで捉え、「ゆとり」の中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。

<期待される効果>

【小学校】

- 始業式や終業式など行事等の減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができる。
- 個人面談を長期休業日中に実施することにより、長期休業日前後の授業削減が解消され、授業時数を確保することができる。
- 二学期制の導入が教育活動全般の見直しにつながる。一日単位の精度の高い年間時間割を作成することにより、行事及びその準備等に充てる時間の精選を図ることができる。また、その結果として、授業時数を確保することができる。
- 長期休業日に対する児童の学習面・生活面への事前指導をきめ細かく実施することができる。
- 長期休業日前に評価等の学期末事務が減少し、教員にゆとりが生まれ、そのゆとりを授業の充実に向けることができる。
- 長期休業日を学期中と位置付けることで、一年間を通した連続的・発展的な学習や学習内容の定着のための学習をより明確に促すことができる。

【中学校】

- 行事の準備に充てる時間等を縮減しなくても、授業時数を無理なく確保することができる。
- 従来の上学期制における7月末の慌ただしさが解消し、夏季休業日の補充学習や三者面談の事前準備を十分に進めることができる。
- 一人一人の生徒の学習面・生活面等の評価資料や情報の収集に十分時間を掛けることができる。

■ 基本的考え方 II

学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。

<期待される効果>

【小学校】

- 学期の長期化により、児童一人一人に対する学習内容の定着状況や変容について、多面的に評価することができる。
- 個人面談等を充実させることにより、保護者に児童個々の学校における学習や生活の状況を丁寧に伝えることができる。

【中学校】

- 学期の長期化により、授業の創意工夫が一層促進される。
- 学習の定着状況や生徒の変容について、多様な評価方法による評価を行うことができる。

■ 基本的考え方 III

長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

<期待される効果>

【小学校】

- 長期休業日中に、学習の基礎・基本の定着を図るための時間を設定することができる。
- 児童が長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができる。

【中学校】

- 補充教室を実施し、基礎学力の確かな定着を図ることができる。
- 夏季休業日中に三者面談等を実施し、学習の進め方等について細やかな指導を行い、学習意欲の喚起を促すことができる。
- 生徒は夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができる。
- 生徒の夏季休業日中の生活を変えるきっかけとなる。

3 「東京都北区二学期制検証委員会」の設置

北区立小・中学校、幼稚園における「二学期制」は、平成18年度（2006年度）に全校・園で導入しており、既に制度導入から16年目を迎えています。

この間、平成30年度（2018年度）に実施した『北区教育ビジョン2020』策定に関するアンケート調査においては、「二学期制」についての保護者満足度は、小学校で56.3%、中学校で46.7%と10ポイント近くの差があり、また、令和元年度（2019年度）に実施した区立小・中学校の校長対象のアンケート調査においては、小学校の校長が「二学期制に概ね賛成」、中学校の校長が「現状（二学期制）でよい」と「（二学期制は）問題がある」に分かれる結果となっており、いずれのアンケート調査においても、小・中学校で「二学期制」に対する評価が分かれました。

また、令和2年度から全面実施となった現行学習指導要領では、小学校5・6年生の外国語科が必修化され、新たな年間授業時間数の確保が必要になってきたことなどもあり、全国の中には「二学期制」を新たに導入する自治体が出てくる一方、既に「二学期制」を導入している自治体の中には、保護者の強い意向などを踏まえて「三学期制」に戻すところも出てくるなど、近年、「二学期制」をめぐる議論等が活発になっており、令和元年度（2019年度）には、北区議会においても、課題の指摘や現状認識を確認する質疑などが行われました。

このような状況もあり、北区教育委員会では、「二学期制」について、制度導入にあたって想定した効果が得られているかどうかなど、その成果や課題を検証する必要があると考え、制度導入から15年という節目でもある令和2年（2020年）11月、学識経験者、校長会代表、PTA代表などで構成する「東京都北区立学校二学期制検証委員会」を設置しました。

4 「二学期制」検証のためのアンケート調査の実施

「二学期制」導入の成果や課題を検証する一助とするため、以下のとおり、教員や保護者などを対象としたアンケート調査を実施いたしました。

【調査の概要】

●対象者（区立幼稚園・こども園、小・中学校）

教員：1,111人 保護者：17,679人 学校評議員等：382人

●調査方法

オンライン形式（Google フォームによる）

※保護者及び学校評議員等の一部は紙媒体で回収

●調査項目 ※参考資料参照

「二学期制」導入時の「基本的考え方」と「期待される効果」に掲げた内容の現時点での評価

●実施期間

令和3年2月15日～2月28日

●回収率

教員：78.3% 保護者：26.2% 学校評議員等：67.5%

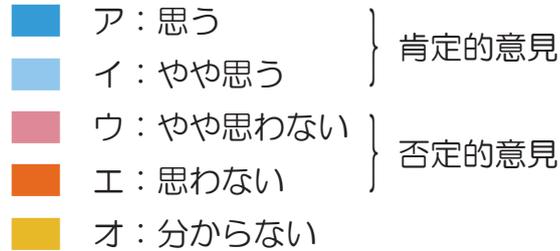
「学校評議員」とは

児童・生徒や保護者・地域住民の期待に応える開かれた学校づくりを推進することを目的として、北区立学校に設置された学校評議員会の組織員のことです。学校評議員は、教育に関する理解及び識見を有するもの（例えば、町会・自治会長、民生委員・児童委員、PTA 会長等）のうちから、校長の推薦により教育委員会で委嘱しています。

5 アンケート実施結果と考察

【アンケート結果】

「7ページ～14ページのグラフの凡例」



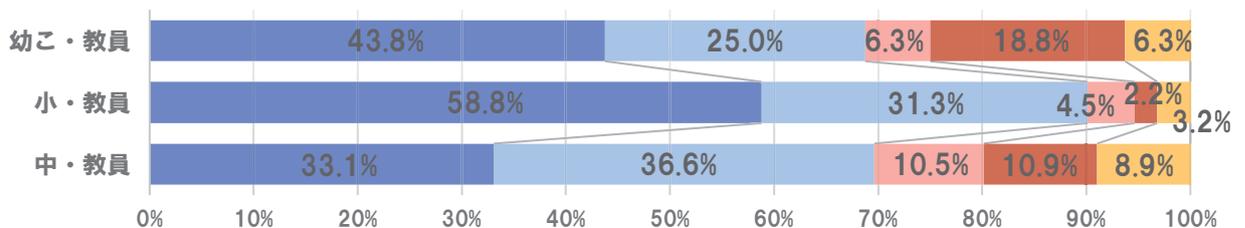
I 一つの学期を長期的なサイクルで捉え、「ゆとり」の中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。

●教員対象アンケート

1 授業時数の確保に関して

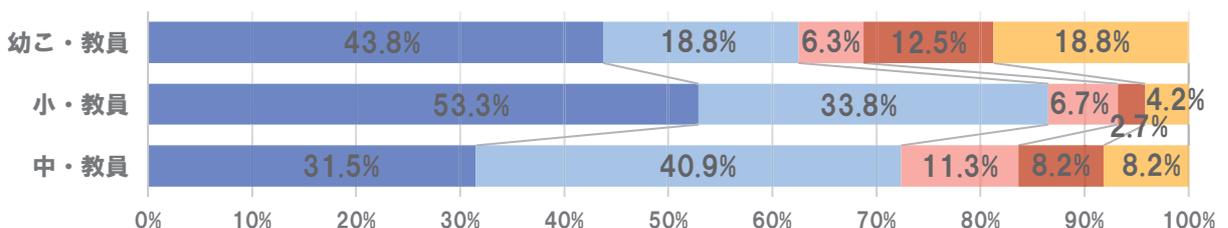
1-①【幼小中・教員】

始業式や終業式など行事等の減少により【〔幼小〕教育時間、〔小中〕】が増加し、【〔幼小〕遊びを通じた教育、〔小中〕授業】の充実を図ることができている。



1-②【幼小中・教員】

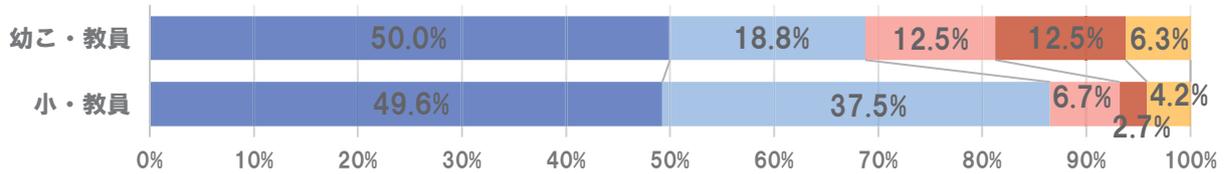
行事及びその準備等にあてる時間の精選を図り、その結果として【〔幼小〕教育時間、〔小中〕授業時数】を確保することができている。



2 長期休業日前後の指導に関して

2-①【幼小・教員】

長期休業日に対する子どもの【〔幼小〕生活面、〔小〕学習面・生活面】への事前指導をきめ細かく実施することができている。



2-②【幼小・教員】

長期休業日前の【〔小〕評価等の】学期末事務が減少し、その分【〔幼小〕保育、〔小〕授業】の充実に向けることができている。



2-③【幼小・教員】

長期休業日が学期中に位置付くことによって、一年間を通じた連続的・発展的な【〔幼小〕学びを実施すること、〔小〕学習や学習内容の定着のための学習を促すこと】ができている。



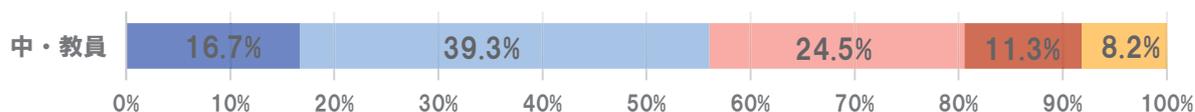
2-①【中・教員】

夏季休業日の補充学習や三者面談の事前準備を十分に進めることができている。



2-②【中・教員】

一人一人の生徒の学習面・生活面等の評価資料や情報の収集に十分時間をかけることができている。



●保護者対象アンケート

1 授業時間の確保に関して【小中】、教育時間の確保に関して【幼小】

1-①【幼小小中・保護者】

始業式や終業式など行事等の減少により【〔幼小〕教育時間、〔小中〕】が増加しています。【〔幼小〕園は遊びを通じた教育、〔小中〕学校は授業】の充実を図ることができていると思いますか。



2 長期休業日前後の指導に関して

2-①【幼小小中・保護者】

【〔幼小〕園、〔小中〕学校】は、長期休業日に対する子どもの【〔幼小〕生活面、〔小中〕学習面・生活面】への事前指導をきめ細かく実施することができていると思いますか。



●学校評議員対象アンケート

1 授業時数の確保に関して

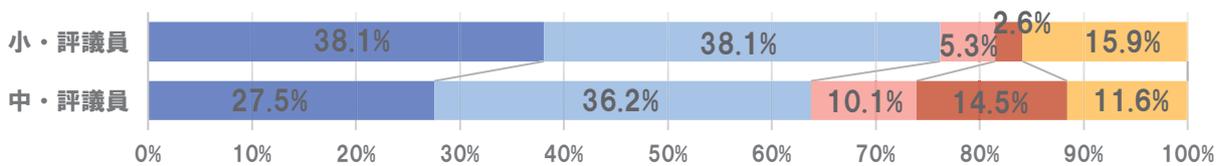
1-①【小中・評議員】

始業式や終業式など行事等の減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができている。



1-②【小中・評議員】

行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、その結果として授業時数を確保することができている。



2 長期休業日前後の指導に関して

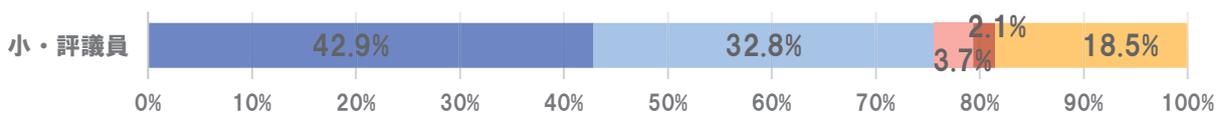
2-①【小・評議員】

長期休業日に対する子どもの学習面・生活面への事前指導をきめ細かく実施することができている。



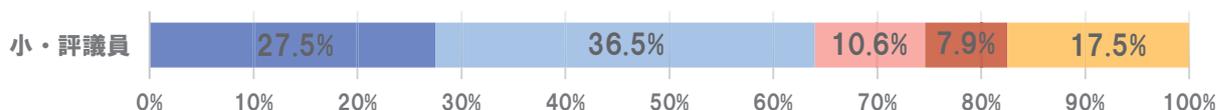
2-②【小・評議員】

長期休業日前の評価等の学期末事務が減少し、その分授業の充実に向けることができている。



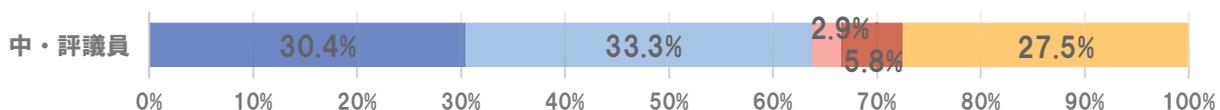
2-③【小・評議員】

長期休業日が学期中に位置付くことによって、一年間を通した連続的・発展的な学習や学習内容の定着のための学習を促すことができている。



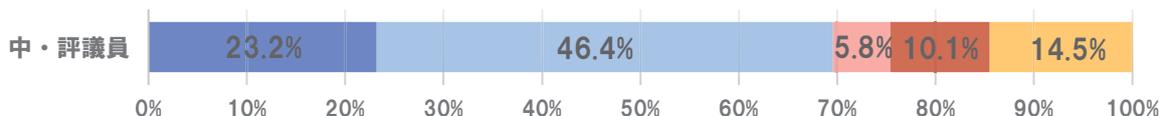
2-①【中・評議員】

夏季休業日の補充学習や三者面談の事前準備を十分に進めることができている。



2-②【中・評議員】

一人一人の生徒の学習面・生活面等の評価資料や情報の収集に十分時間を掛けることができている。



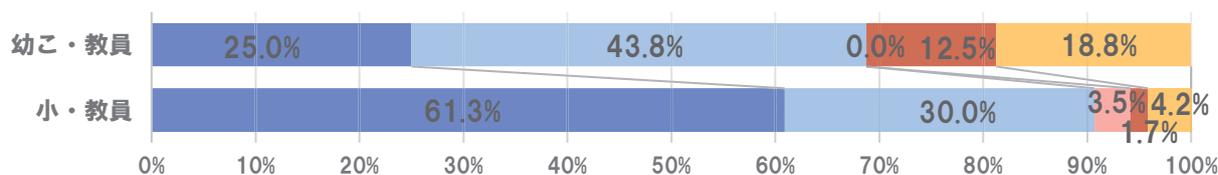
Ⅱ 学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。

●教員対象アンケート

3 授業時数の確保に関して

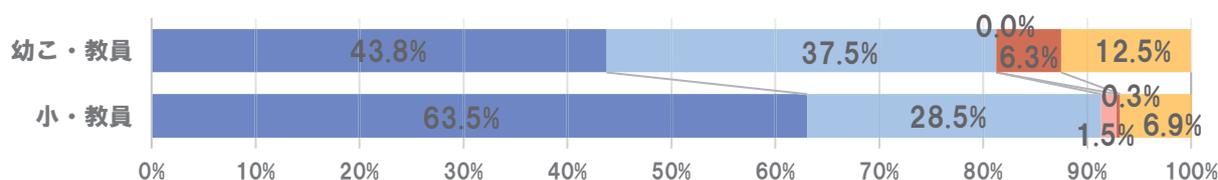
3-①【幼小・教員】

学期の長期化により、【〔幼小〕子ども一人一人の成長や変容、〔小〕子ども一人一人に対する学習内容の定着状況や変容】について、多面的に評価することができている。



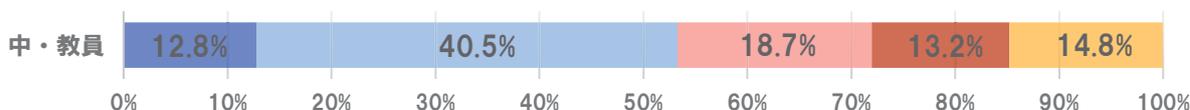
3-②【幼小・教員】

個人面談等では、保護者に子ども個々の【〔幼小〕園における生活、〔小〕学校における学習や生活】の状況を丁寧に伝えることができている。



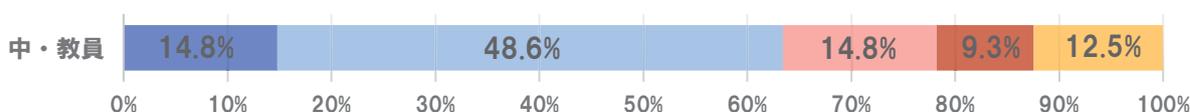
3-①【中・教員】

学期の長期化により、授業の創意工夫が一層促進されている。



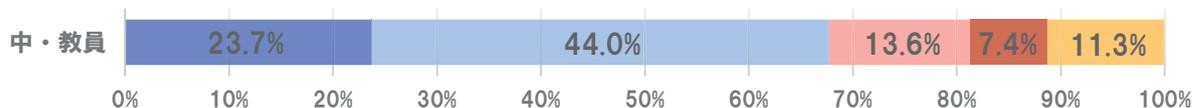
3-②【中・教員】

学習の定着状況や生徒の変容について、多様な評価方法による評価を行うことができている。



3-③【中・教員】

定期テストの回数が減っても、その分の授業時数が増えるため、授業の中で、小テストや実技テストを行ったり、生徒の学習の様子を継続的に観察したりするなど、きめ細かな評価を行うことができている。

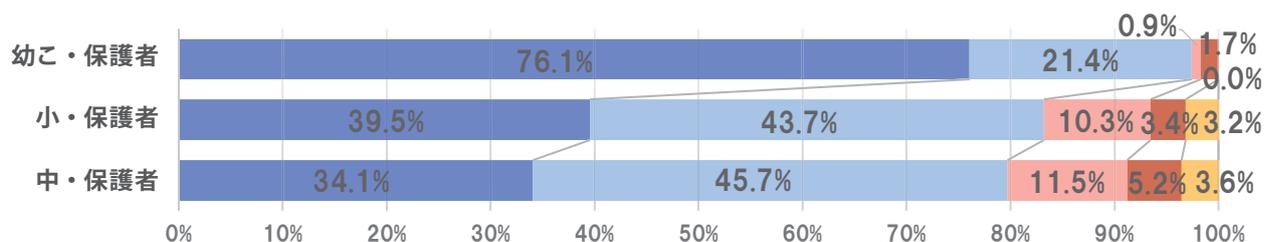


●保護者対象アンケート

3 評価の改善に関して

3-①【幼小中・保護者】

個人面談等【〔小中〕を充実させること】により、教員は保護者に子ども個々の【〔幼小〕園における遊びを通じた学びや生活、〔小中〕学校における学習や生活】の状況を丁寧に伝えることができていると思いますか。

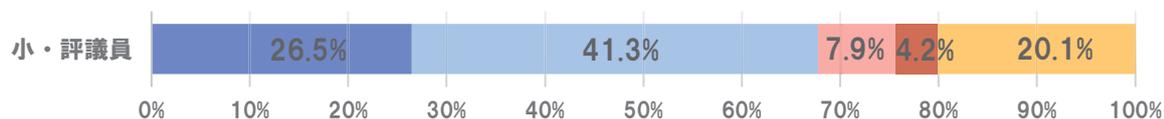


●学校評議員対象アンケート

3 評価の改善に関して

3-①【小・評議員】

学期の長期化により、子ども一人一人に対する学習内容の定着状況や変容について、多面的に評価することができている。



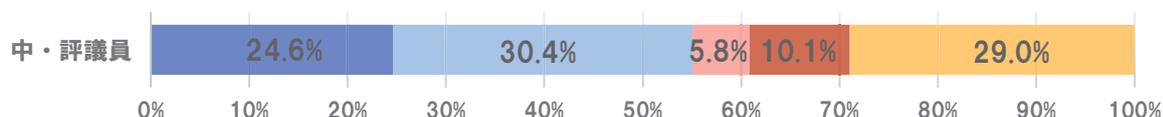
3-②【小・評議員】

個人面談等では、保護者に子ども個々の学校における学習や生活の状況を丁寧に伝えることができています。



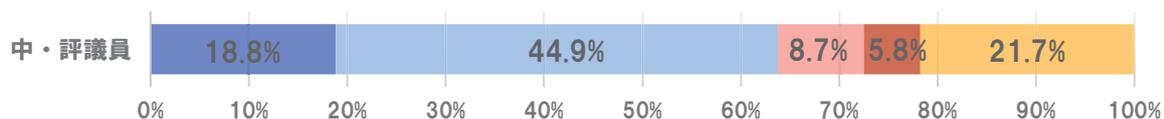
3-①【中・評議員】

学期の長期化により、授業の創意工夫が一層促進されている。



3-②【中・評議員】

学習の定着状況や生徒の変容について、多様な評価方法による評価を行うことができています。



3-③【中・評議員】

定期テストの回数が減っても、その分の授業時数が増えるため、授業の中で、小テストや実技テストを行ったり、生徒の学習の様子を継続的に観察したりするなど、きめ細かな評価を行うことができています。



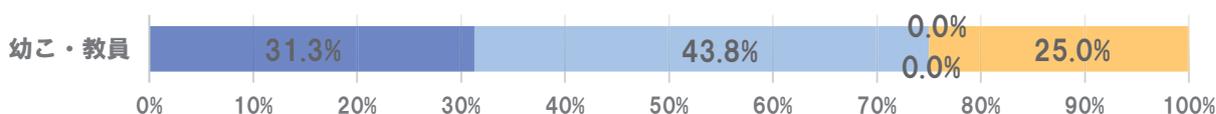
Ⅲ 長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

●教員対象アンケート

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

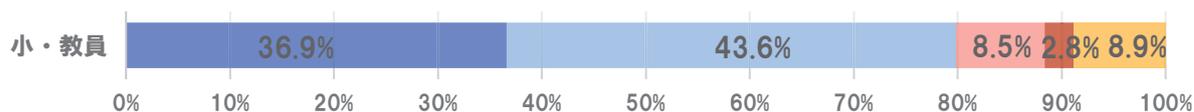
4-①【幼こ・教員】

長期休業日に向けた園からの配布物や来園の機会提供（プール開放等）により、園は子どもの主体的な学びの時間を設定することができる。



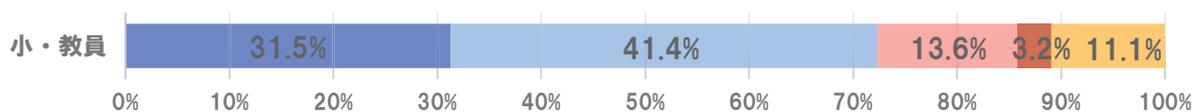
4-①【小・教員】

長期休業日中に、学習の基礎・基本の定着を図るための時間を設定することができる。



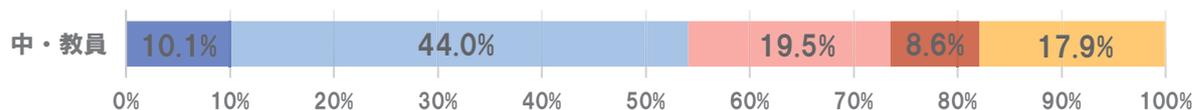
4-②【小・教員】

子どもが長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができる。



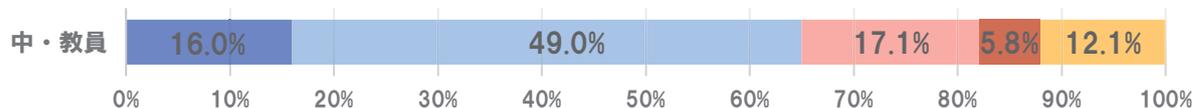
4-①【中・教員】

補充教室等を実施し、基礎学力の確かな定着を図ることができる。



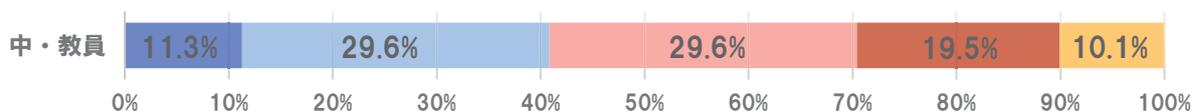
4-②【中・教員】

学習の進め方等について細かな指導を行い、学習意欲の喚起を促すことができる。



4-③【中・教員】

生徒は夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができている。

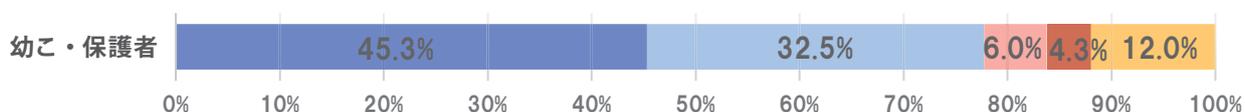


●保護者対象アンケート

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

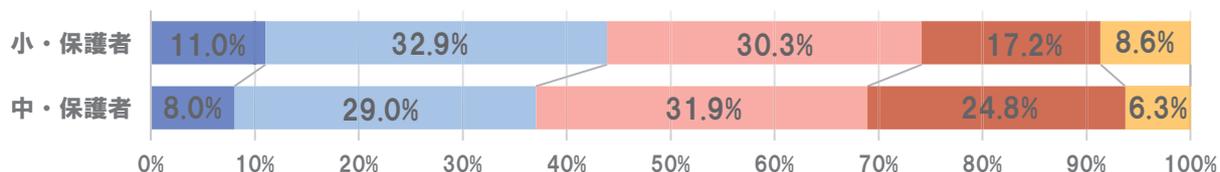
4-①【幼こ・保護者】

長期休業日に向けた園からの配布物や来園の機会提供（プール開放等）により、園は子どもの主体的な学びの時間を設定することができていると思いますか。



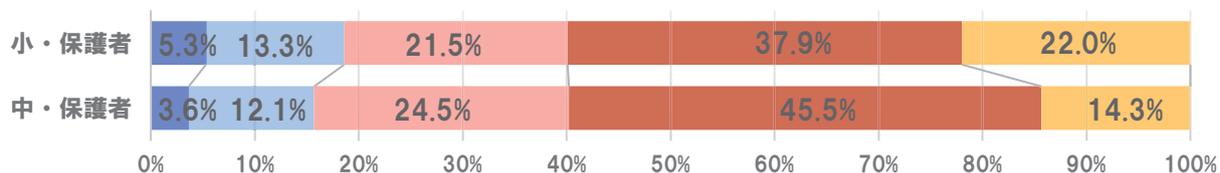
4-①【小中・保護者】

子どもは長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができていると思いますか。



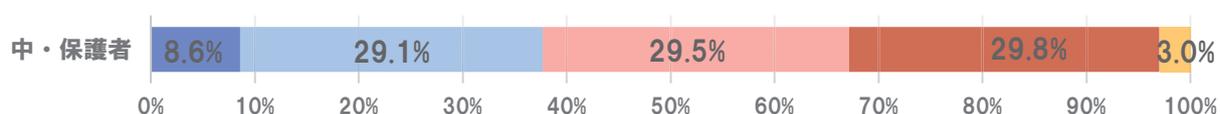
4-②【小中・保護者】

二学期制は、子どもの夏季休業日中の生活を変えるきっかけとなっていると思いますか。



4-③【中・保護者】

子どもは夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができると思えますか。

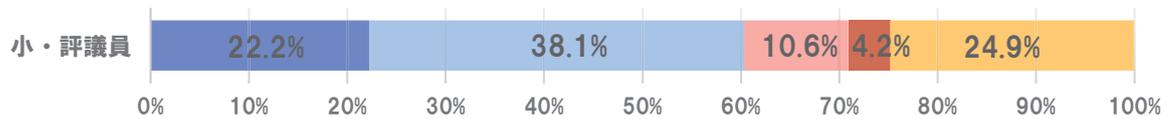


●学校評議員対象アンケート

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

4-①【小・評議員】

長期休業日中に、学習の基礎・基本の定着を図るための時間を設定することができる。



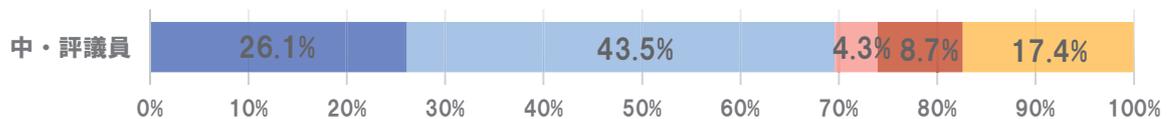
4-②【小・評議員】

子どもが長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができる。



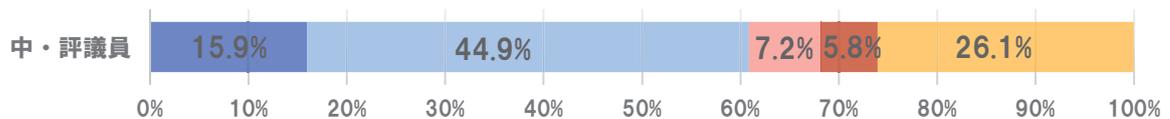
4-①【中・評議員】

補充教室等を実施し、基礎学力の確かな定着を図ることができる。



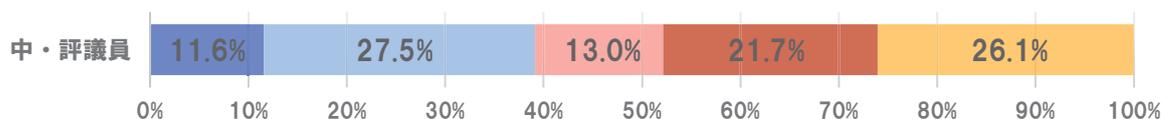
4-②【中・評議員】

学習の進め方等について細かな指導を行い、学習意欲の喚起を促すことができる。



4-③【中・評議員】

生徒は夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができる。



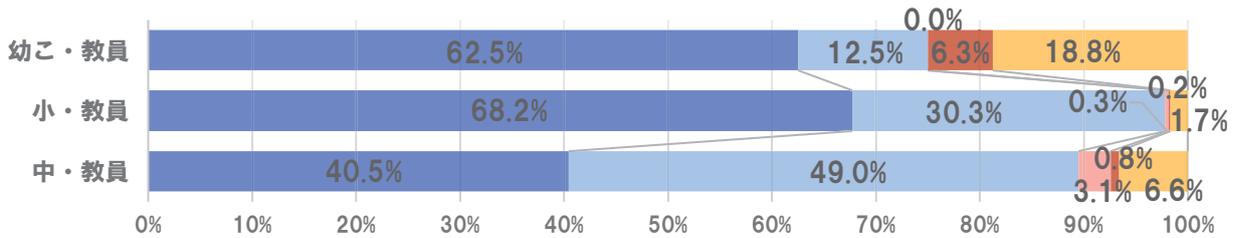
I～Ⅲの観点以外のアンケート項目について

●教員対象アンケート

5 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

5-①【幼小中・教員】

【〔小中〕：授業等】教育活動において、指導と評価の改善に努めている。



5-②【小中・教員】

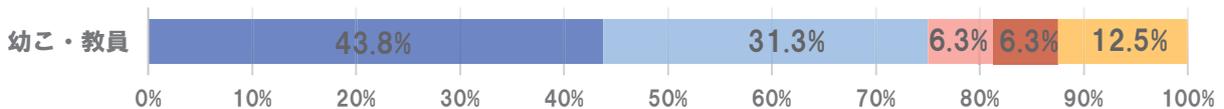
本校において、ここ数年間を見ると確かな学力が定着してきていると感じる。



6 評価の伝達について【幼小】、通知表が減ることの影響に関して【小中】

6-①【幼小・教員】

子どもたちの成長の状況を保護者に伝える方法は、面談や手紙の作成などで工夫ができています。



6-②【小中・教員】

子どもたちの学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表の作成、評定だけを記載した成績表の作成などの工夫ができています。



6-②【小中・教員】

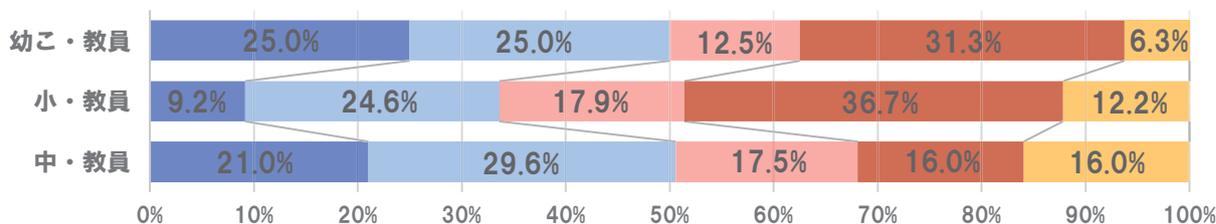
通知表の回数が減ることにより、通知表作成の時間を面談の準備に使うことができ、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く時間の確保にもつながっている。



7 デメリットに関して

〔幼こ小 7-①〕〔中 7-②〕【幼こ小中・教員】

秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習の日程等を組まなければならない。



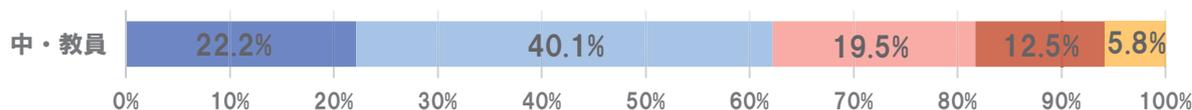
〔小 7-②〕〔中 7-③〕【小中・教員】

通知表が2回に対する保護者の不安がある。



〔中 7-①〕【中・教員】

定期テストの範囲が広がり、生徒が負担を感じている。



〔中 7-④〕【中・教員】

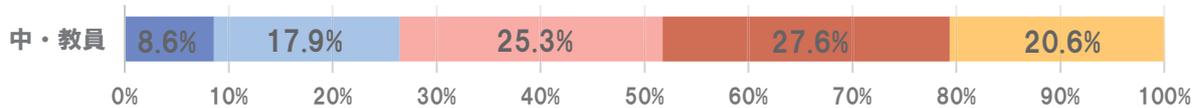
中学校3年生に関しては、10月の1学期末に加えて、12月に内申（成績）を出さなければならないので、三学期制より二学期制のほうが成績を出す手間が多い。



8 高校受験に関して

8-①【中・教員】

高校受験に関して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方などで有効な制度だと思いますか。

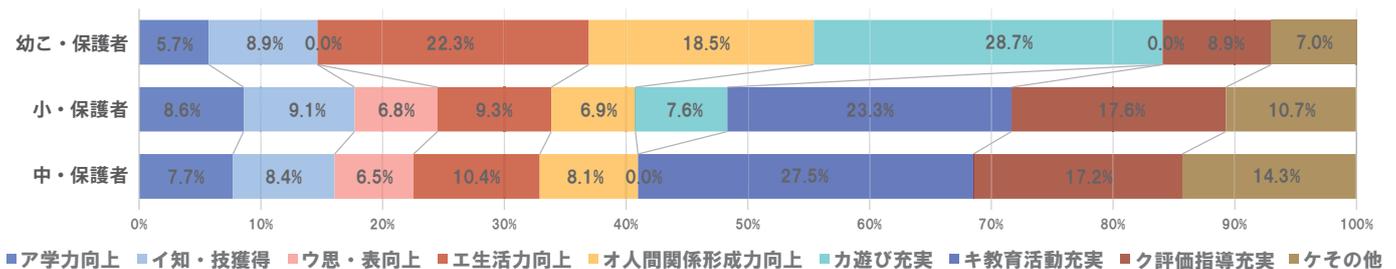


●保護者対象アンケート

5 学力向上に関して

5-①【幼こ小中・保護者】

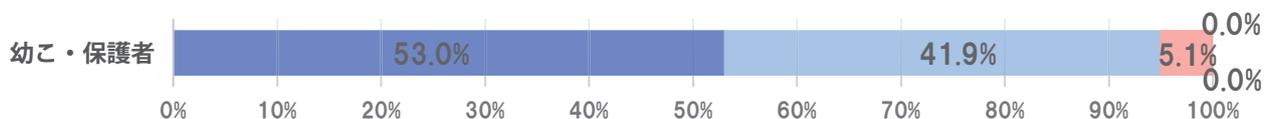
二学期制は、どんなことに効果があると思いますか。あなたの考えと近いと思うものを1～3つまで選んでください。(複数回答)



6 評価の伝達について【幼こ】、通知表が減ることの影響に関して【小中】

6-①【幼こ・保護者】

子どもたちの成長の状況を保護者に伝える方法は、面談や手紙の作成などで工夫がされていると思いますか。



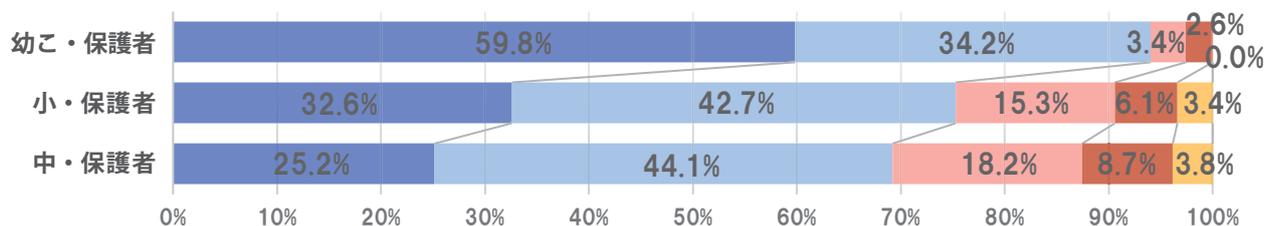
6-①【小中・保護者】

【〔小〕子どもたち、〔中〕生徒】の学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表、評定の記載など工夫されていると思いますか。



6-②【幼小中・保護者】

面談等、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く機会が確保されていると思いますか。



7 デメリットに関して

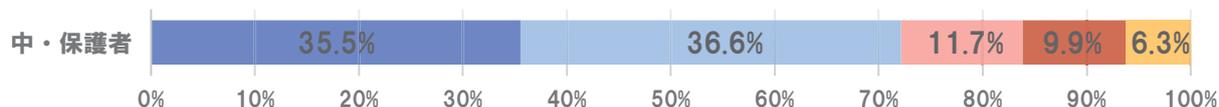
〔小7-①〕〔中7-②〕【小中・保護者】

通知表が2回であると、保護者として不安ですか。



〔中7-②〕【中・保護者】

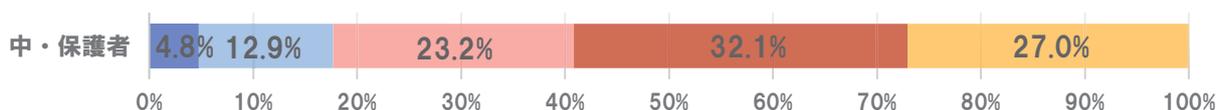
定期テストの範囲が広がり、子どもが負担を感じていると思いますか。



8 高校受験に関して

8-①【中・保護者】

高校受験に関して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方などで有効な制度だと思いませんか。

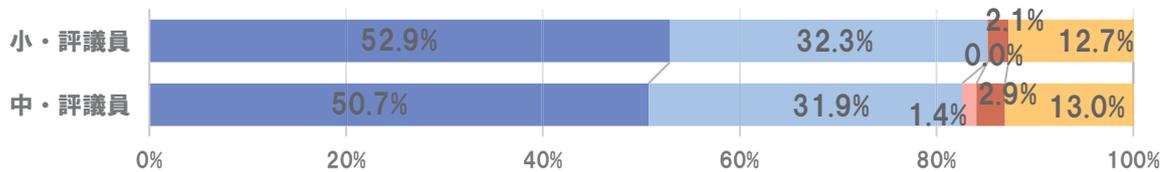


●学校評議員対象アンケート

5 学力向上に関して

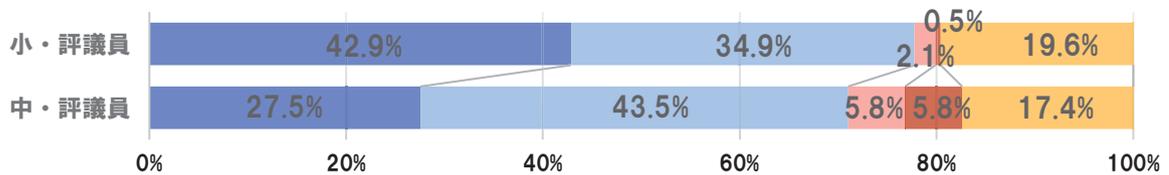
5-①【小中・評議員】

授業等教育活動において、指導と評価の改善に努めている。



5-②【小中・評議員】

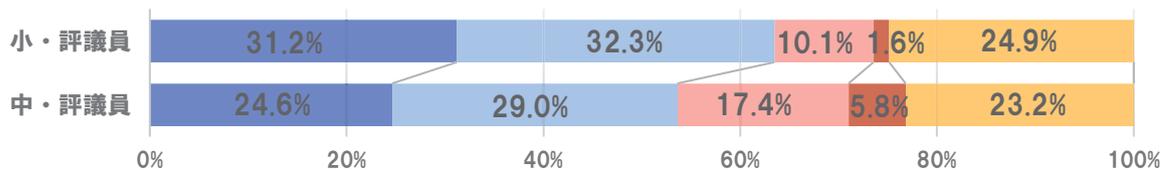
自校において、ここ数年間をみると確かな学力が定着してきていると感じる。



6 通知表が減ることの影響に関して

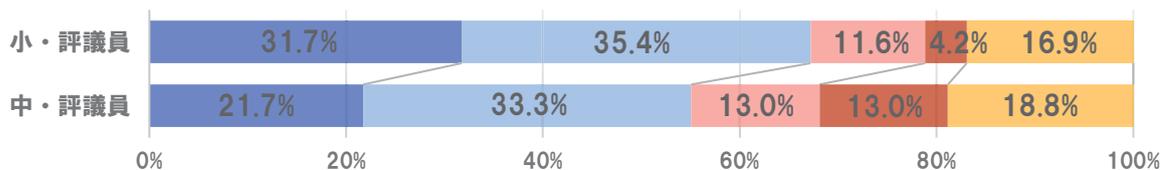
6-①【小中・評議員】

子どもたちの学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表の作成、評価だけを記載した成績表の作成などの工夫ができています。



6-②【小中・評議員】

通知表の回数が減ることにより、通知表作成の時間を面談の準備に使うことができ、保護者が生徒の様子を詳細に教員から聞く時間の確保にもつながっている。



7 デメリットに関して

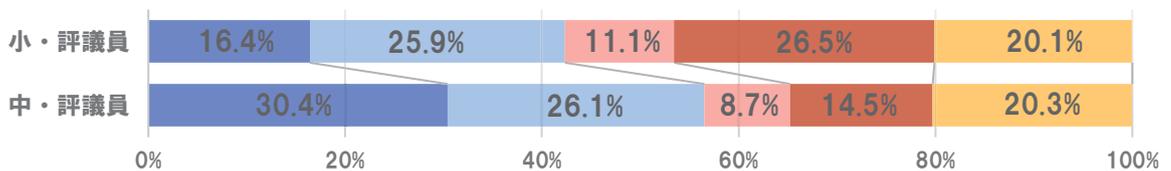
〔小7-①〕〔中7-②〕【小中・評議員】

秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習の日程等を組まなければならない。



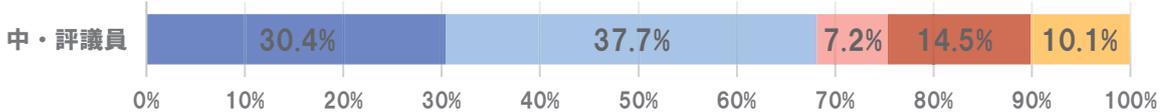
〔小7-②〕〔中7-③〕【小中・評議員】

通知表が2回に対する保護者の不安がある。



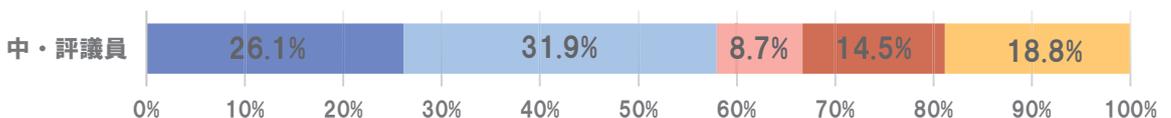
〔中7-①〕【中・評議員】

定期テストの範囲が広がり、生徒が負担を感じている。



〔中7-④〕【中・評議員】

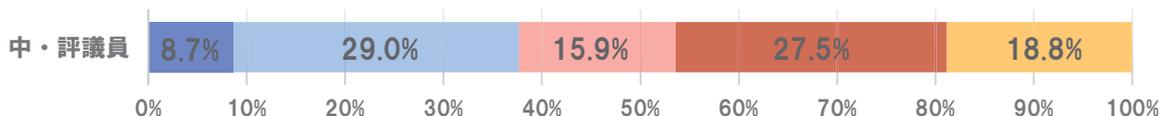
中学校3年生に関しては、10月の1学期末に加えて、12月に内申（成績）を出さなければならないので、三学期制より二学期制のほうが成績を出す手間が多い。



8 高校受験に関して

8-①【中・評議員】

高校受験に関して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方などで有効な制度だと思いますか。



【アンケート結果の考察】

※「肯定的回答」は「思う」、「やや思う」の割合、「否定的回答」は「やや思わない」、「思わない」の割合である。

①「期待した効果」どおりの成果が概ね得られていると評価された項目

【教員・保護者・学校評議員共通】

ア 行事等の減少により、教育時間や授業時数が増加し、教育や授業の充実を図ることができている。

〈教員アンケート 1-①、保護者アンケート 1-①、評議員アンケート 1-①〉

肯定的回答 ⇒ 幼こ教員の 68.8%、小教員の 90.1%、中教員の 69.6%

幼こ保護者の 88.9%、小保護者の 72.4%、中保護者の 68.0%

小評議員の 79.4%、中評議員の 63.8%

イ 個人面談等により、教員は保護者に子ども個々の生活や学習の状況を丁寧に伝えることができている。

〈教員アンケート 3-②、保護者アンケート 3-①、評議員アンケート 3-②〉

肯定的回答 ⇒ 幼こ教員の 81.3%、小教員の 92.0%（中教員への質問なし）

幼こ保護者の 97.5%、小保護者の 83.2%、中保護者の 79.8%

小評議員の 69.3%（中評議員への質問なし）

【教員】

ウ 行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、教育時間や授業時数を確保することができている。 〈教員アンケート 1-②〉

肯定的回答 ⇒ 幼こ教員の 62.6%、小教員の 87.1%、中教員の 72.4%

エ 教育活動において、指導と評価の改善に努めている。 〈教員アンケート 5-①〉

肯定的回答 ⇒ 幼こ教員の 75.0%、小教員の 98.5%、中教員の 89.5%

【保護者】

オ 長期休業日に対する子どもの生活面への事前指導をきめ細かく実施することができている。 〈保護者アンケート 2-①〉

肯定的回答 ⇒ 幼こ保護者の 89.8%、小保護者の 71.5%、中教員の 65.3%

カ 面談等、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く機会が確保されている。

〈保護者アンケート 3-①〉

肯定的回答 ⇒ 幼こ保護者の 97.5%、小保護者の 83.2%、中保護者の 79.8%

【学校評議員】

- キ 教育活動において、指導と評価の改善に努めている。〈学校評議員アンケート 5- ①〉
肯定的回答 ⇒ 小評議員の 85.2%、中評議員の 82.6%

考察①：以下5点については、概ね「二学期制」により期待した効果が得られていると捉えられる。

- ① 教育時間や授業時数の増加とそれに伴う教育や授業の充実を図ること
- ② 教育活動における指導と評価の改善の実現
- ③ 長期休業日に対するきめ細かな生活面の事前指導の実施
- ④ 教員から保護者への生活や学習状況の丁寧な伝達の実施
- ⑤ 保護者が教員から子どもの様子を詳細に聞く機会の確保

② 期待した効果」どおりの成果が十分には得られていないと評価された項目

【教員】

- ア 生徒は夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができている。〈中学校教員アンケート 4- ③〉
否定的回答 ⇒ 中教員の 49.1% (小教員への質問なし)

【保護者】

- イ 子どもは長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができている。〈保護者アンケート 4- ①〉
否定的回答 ⇒ 小保護者の 47.5%、中保護者の 56.7%
- ウ 二学期制は、子どもの夏季休業中の生活を変えるきっかけとなっている。〈保護者アンケート 4- ②〉
否定的回答 ⇒ 小保護者の 59.4%、中保護者の 70.0%
- エ 子どもは夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができている。〈保護者アンケート 4- ③〉
否定的回答 ⇒ 中保護者の 59.3% (小保護者への質問なし)

考察②：以下3点については、「二学期制」により期待した効果が十分に得られていないと捉えられる。

- ① 夏季休業日後の定期考査を意識した計画的な学習の実施
- ② 長期休業日を使った長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習の実施
- ③ 夏季休業中の生活を変えるきっかけづくり

③ 「基本的考え方Ⅰ～Ⅲ」の観点以外で「二学期制」の影響として想定していた項目

ア 秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習日程を組まなければならない。 〈教員アンケート 7-①〉

肯定的回答 ⇒ 幼小教員の 50.0%、小教員の 33.6%、中教員の 50.6%

イ 通知表が2回であると、保護者が不安である。

〈小保護者アンケート 7-①、中保護者アンケート 7-②、小中教員アンケート 7-②〉

「不安」と捉えている回答 ⇒ 小教員の 8.4%、中教員の 34.6%

小保護者の 32.2%、中保護者の 52.7%

小評議員の 42.3%、中評議員の 56.5%

ウ 高校受験に対して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方など有効な制度だと思う。

〈教員アンケート 8-①、保護者アンケート 8-①、評議員アンケート 8-①〉

肯定的回答 ⇒ 中教員の 26.5%、中保護者の 17.7%、中評議員の 37.7%

エ 定期テストの範囲が広がり、生徒が負担を感じている。(中学校)

〈中教員アンケート 7-①、中保護者アンケート 7-②、中評議員アンケート 7-②〉

「負担」と捉えている回答 ⇒ 中教員の 62.3%、中保護者の 72.1%

中評議員の 68.1%

オ 本校において、ここ数年間を見ると確かな学力が定着してきていると感じである。

〈教員アンケート 5-②、学校評議員アンケート 5-②〉

肯定的回答 ⇒ 小教員の 74.9%、中教員の 59.1%

小評議員の 77.8%、中評議員の 71.0%

二学期制は、どんなことに効果があると思いますか。

(考えの近いものを3つまで、複数回答可)

〈保護者アンケート5-①〉

「学力向上」と回答 ⇒ 幼小保護者の5.7%、小保護者の8.6%、中保護者の7.7%

考察③：以下5点については、「二学期制」の意義や効果の再確認と改善が求められるといえる。

- ① 学期を越えた行事にかかる練習日程の工夫
- ② 通知表が2回であることについての保護者の理解と不安解消への対応
- ③ 高校受験に対しての「二学期制」の有効性の理解
- ④ 定期テストの範囲が広がることの生徒の負担感への対応
- ⑤ 確かな学力の定着と「二学期制」との相関についての具体的な検証

6 検証委員会における主な意見

■ 基本的考え方 I

一つの学期を長期的なサイクルで捉え、「ゆとり」の中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。

- ★ 二学期制により、一つの学期を長期的なサイクルで捉えることができ、長期休業日前の通知表準備等の作業が減少するなど、学校全体に「ゆとり」が生まれ、児童・生徒一人一人の連続的・発展的な学習活動ができる指導につながるできている。
- ★ 小学校では夏季休業中や授業期間中に個人面談を設定するとともに、学期末に配付する通知表において学習や生活の状況をお知らせしており、二学期制により保護者に対して日ごろの学校での児童の状況をバランスよく伝えることができている。
- ★ 中学校では、夏季休業中に三者面談を実施することで、通常は授業期間中に行う資料整理や面談準備の時間が確保されることにより、授業準備の時間に余裕が生まれる利点がある。
- ★ 幼稚園・こども園においては、小学校の学びを確実なものにしていくために、生活リズムを幼児期からしっかり整えていくことがとても重要である。そして、夏休みの間も学期の途中であることを踏まえ、規則正しい生活を送ることの大切さを保護者にしっかり伝えていくことが重要である。
- ★ 今回のアンケートでは、二学期制導入時に小・中学校で施行・実施するに当たり、基本的な3つの観点を検証する設問であったため、幼稚園・こども園の教員や保護者にとって「分からない」と回答する割合が高かった。
- ★ 幼稚園・こども園は就学前教育として小学校への円滑な接続のために重要な役割を果たしており、幼児期から長期的な視点で1年を2つに分けて捉えることの効果期待できる。

■ 基本的考え方 II

学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。

- ★ 学期の長期化により、児童・生徒に対する学習内容の定着状況等について多面的な視点で評価に生かすことが可能となることが実証できた。
- ★ 中学校については、夏季休業前後での学習内容について、学期の長期化の利点を生かした授業内容の創意工夫を検討する必要がある。
- ★ 学期が長期化することによって、子どもたちの学習面や生活面の変容や記録、作品等を通した、より多面的な評価が可能になるとともに、長期的な時間の中で定着状況を見ることができると、評価の精度を高めることもできる。
- ★ アンケート項目「3 評価の改善に関して」において、幼稚園・こども園及び小学校の教員と中学校の教員とで質問が異なるものがあり、校種における比較・検討が十分に行えない面がある。アンケート項目の精査が必要であった。
- ★ 小学校では、通知表によって評価内容を伝えるだけでなく、個人面談において保護者との直接の対話を重視している。その際、学習面や生活面等における、児童の日々の成長や課題を直接保護者の方に伝えるよう努めている。
- ★ 中学校においては、通知表の発行が2回だからといって業務が軽減したわけではなく、三者面談への対応や部活動等の様々な業務に時間を費やしている。

■ 基本的考え方 Ⅲ

長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

- ★ 教員は、長期休業が学期途中に入ることで、長期的視野に立った学習を促すことや学習意欲の喚起につながっていると捉えている反面、保護者との認識の差が大きい。長期休業日の中で、児童・生徒が自ら課題を設定して学習したり、課題研究を実施したりできるような場面を学校で設定し、保護者の協力を得られるような発信を行う必要がある。
- ★ 夏休みは、長期的な視点にたって子どもたちが様々な体験活動等を通して問題解決につなげていくことのできる機会であることを子どもたちはもとより教員も保護者も認識していきたい。そのために、二学期制の意義について年度初めに教職員や保護者に周知することが重要である。
- ★ 「読書感想文」、「比べて読もう新聞コンクール」、「アイデア工夫展」などの夏休みの課題は、子どもたちの体験的、問題解決的な取組につながるものである。子どもが何を選択するかも含め、保護者とともに考えていくきっかけになるように発信していけるとよい。
- ★ このアンケートは令和3年2月の実施で、多分にコロナ禍の影響が大きい。昨年、今年の夏休みは子どもたちに多くの制約がある中であつたと考えられる。
- ★ 保護者、PTA等の協力を得て、土日や長期休業中等を使って地域の力を得て、子どもたちを育てていくことをさらに進めていくことができるとよい。また、夏休みといった長期休業日の意義や目的を、学校、家庭や地域社会で捉え直していく機会も必要である。

■ I～Ⅲの観点以外のアンケート項目について

① 長期休業前の学習状況の伝え方

- ★ 長期休業前に、それまでの児童・生徒の学習状況について保護者への伝え方や面談を実施する際の方法等について、さらなる工夫が必要である。

② 夏休み明けの定期考査に関して

- ★ 中学校では夏休み明け9月に実施する定期考査を意識して夏休み中の自発的な学習に取り組んでいけるような生徒への働き掛けがさらに必要である。

③ 進路指導、高校受験への不安

- ★ 保護者と同様に中学校の教員も、高校受験に向けての強い不安があり、特に中学校第3学年については、通知表の提示時期や方法について何らかの対策を講じていく必要がある。

④ その他

- ★ 二学期制を導入していることと北区の児童・生徒の学力向上につながっているのかを、検証していくことも重要である。
- ★ society 5.0時代における教育やGIGAスクール構想による一人1台端末の導入などが進んでいることを踏まえ、時代に即して二学期制の議論を進めていく必要がある。

7 まとめ

「二学期制」については、冒頭の「導入の経緯」で述べたように、「教育課程を適切に実施するための指導時間」や「子どもたちの『生きる力』を育むための児童・生徒と教員の『ゆとり』」を確保することを主眼に、「基本的考え方」として整理した3つの観点に基づく取組みを進めてきました。

今回、これまでの取組を踏まえた現状について、初めて、アンケート調査による分析・検証を行いました。しかし、「指導時間の確保」については、アンケート結果の考察①に掲げたとおり、「教育や授業の充実」、「指導と評価の改善」、「きめ細かな生活面の指導の実施」などにつながる効果が得られていることが確認できました。一方、「ゆとりの確保」については、アンケート結果の考察②に掲げたとおり、「長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習の実施」、「夏季休業中の生活を変えるきっかけづくり」、「夏季休業後の定期考査を意識した計画的な学習の実施」などの点で効果が十分に得られていないことが明らかとなりました。また、「通知表が2回であること」、「高校受験に対しての『二学期制』の有効性の理解」、「定期テストの範囲が広がることの生徒の負担感への対応」など、「二学期制」の意義や効果についての再確認や改善も必要であることが確認できました。

また、今回のアンケートは、幼稚園・こども園の教員や保護者も対象に実施しましたが、アンケート調査の項目や設問を、小・中学校における「二学期制」の試行時に整理した考え方を基本に作成したことから、検証委員会においても、「幼稚園・こども園の教員や保護者には回答が難しかった設問もあり、『分からない』との回答をせざるを得なかった」との意見も出されており、いくつかの設問において、「分からない」の割合が高かったことから、これらの分析を含め、今後に向けた反省点と研究課題であると捉えています。

なお、今後北区における学校教育をさらに充実させていくためには、今回のような検証を定期的に行うことが不可欠であるとともに、今回の検証で明らかになった以下の課題等については、その解決策や取組みなどについて、令和4年度から2年間で、教育委員会事務局と校長会等の代表者による検討チームを組織し、他区の状況も踏まえ研究・検討を行っていくことといたします。また、検討状況については、PTA 連合会等へも情報発信を行ってまいります。

【主な検討課題】

- 教員、保護者等の「二学期制」導入時の基本的考え方（意義・効果）に関する再確認と共通理解
- 体験的・問題解決的な学習や生活改善につながる夏季休業期間の効果的活用の仕組み
- 通知表が2回であることによる不安解消や高校受験に向けた具体的な改善対策の取組

參考資料

【参考資料①】

東京都北区立学校二学期制検証委員会設置要綱

2北教教指第2548号
令和2年10月14日教育長決裁

（設置）

第1条 北区立幼稚園、認定こども園、小学校及び中学校（以下、「北区立学校」という。）で導入している二学期制実施に係る成果や課題を検証するため、東京都北区学校二学期制検証委員会（以下、「検証委員会」という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 検証委員会は、次に掲げる事項に関するものについて検証する。

- (1) 二学期制実施に係る成果や課題等に関する事項
- (2) 今後の具体的な方向性に関する事項

（組織等）

第3条 検証委員会の委員は次に掲げる者とし、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者（2人）
- (2) 区立学校関係者（5人）
 - ① 幼稚園・こども園長会代表
 - ② 小学校長会代表
 - ③ 中学校長会代表
 - ④ 小学校副校長会代表
 - ⑤ 中学校副校長会代表
- (3) 保護者（6人）
 - ① 幼稚園・こども園PTA 連合会代表（2人）
 - ② 小学校PTA 連合会代表（2人）
 - ③ 中学校PTA 連合会代表（2人）
- (4) 教育行政関係者（1人）
教育振興部長

（任期）

第4条 委員の任期は、委嘱の日から報告書作成完了までとする。

- 2 やむを得ず任期途中で交代する場合の新委員の任期は、交替した日から報告書完了までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検証委員会には委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員で互選し、副委員長は選出された委員長が指名する。
- 3 委員長は会務を統括し、会議の進行をつかさどる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、検証委員会の検討事項に関係のある者を出席させ、意見を求めることができる。
- 5 委員長に事故のあるとき、又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。
- 6 副委員長は、委員長を補佐する。

(会 議)

第6条 検証委員会の会議は、委員長が委員を招集し、開催する。

(守秘義務)

第7条 検証委員会の委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(庶 務)

第8条 検証委員会の庶務は、教育振興部教育指導課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検証委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付則

この要綱は、令和2年10月14日から施行する。

【参考資料②】

東京都北区立学校二学期制検証委員会委員名簿【令和2年度】

【委員】

(敬称略)

	委員長	副委員長	所 属 等	氏 名
委 員	○		東京福祉大学教授	山 本 豊
		○	上智大学教授	上 野 正 道
			幼稚園・こども園長会代表（ふくろ幼稚園長）	篠 澤 恵 理
			小学校長会代表（岩淵小学校長）	福 田 猛
			中学校長会代表（赤羽岩淵中学校長）	綿 貫 正 人
			小学校副校長会代表（王子小学校副校長）	關 口 泰 正
			中学校副校長会代表（神谷中学校副校長）	関 根 克 洋
			幼稚園・こども園 PTA 連合会代表 （じゅうじょうなかはら幼稚園）	高 橋 文 子
			幼稚園・こども園 PTA 連合会代表 （たきさん幼稚園）	畑 中 恵 美
			小学校 PTA 連合会代表（十条台小学校）	高 木 佳 子
			小学校 PTA 連合会代表（桐ヶ丘郷小学校）	森 口 智 志
			中学校 PTA 連合会代表（赤羽岩淵中学校）	菊 地 雄 一
			中学校 PTA 連合会代表（飛鳥中学校）	富 岡 昇 平
			北区教育委員会事務局教育振興部長	小野村 弘 幸

【事務局】

(敬称略)

所 属	氏 名
教育指導課長	畔 柳 信 之
教育指導課統括指導主事	水 浦 茂 樹
教育指導課主査	花 見 和 也
教育指導課指導主事	和 田 正 典
教育指導課指導主事	根 本 淳 子
教育指導課指導主事	細 目 忠 男

東京都北区立学校二学期制検証委員会委員名簿【令和3年度】

【委員】

（敬称略）

	委員長	副委員長	所 属 等	氏 名
委 員	○		東京福祉大学教授	山 本 豊
		○	上智大学教授	上 野 正 道
			幼稚園・こども園長会代表（ふくろ幼稚園長）	篠 澤 恵 理
			小学校長会代表（堀船小学校長）	☆平 野 哲 士
			中学校長会代表（十条富士見中学校長）	☆松 本 洋 人
			小学校副校長会代表（袋小学校副校長）	☆安 岡 京
			中学校副校長会代表（神谷中学校副校長）	関 根 克 洋
			幼稚園・こども園PTA 連合会代表 （じゅうじょうなかはら幼稚園）	☆車 田 優可理
			幼稚園・こども園PTA 連合会代表 （たきさん幼稚園）	☆中 根 優 子
			小学校PTA 連合会代表（十条台小学校）	高 木 佳 子
			小学校PTA 連合会代表（桐ヶ丘郷小学校）	森 口 智 志
			中学校PTA 連合会代表（赤羽岩淵中学校）	菊 地 雄 一
			中学校PTA 連合会代表（飛鳥中学校）	富 岡 昇 平
			北区教育委員会事務局教育振興部長	小野村 弘 幸

☆：令和3年度新委員

【事務局】

（敬称略）

所 属	氏 名
教育指導課長	畔 柳 信 之
教育指導課統括指導主事	菊 池 修 一
教育指導課主査	田 口 竜 幸
教育指導課指導主事	羽 仁 克 嘉
教育指導課指導主事	菊 池 努
教育指導課指導主事	根 本 淳 子
教育指導課指導主事	丹 野 雄 二

【参考資料③】

東京都北区立学校二学期制検証委員会スケジュール及び検討項目

回	年	月	日	曜日	検討内容	備考
1	2	11	12	木	<ul style="list-style-type: none"> 事務局から北区の二学期制について経緯説明 委員から現状の二学期制について意見交換 次回の議題の確認「二学期制の成果と課題を見取るための調査内容・方法について」 	
2	2	12	22	火	<ul style="list-style-type: none"> 調査内容について事務局案の提案を基に協議 調査方法について協議・決定 次回の前までに調査内容について、委員から更なる意見がある場合は事務局が集約 次回までに改善した調査内容案を委員に送付 	
3	3	1	19	火	<ul style="list-style-type: none"> 調査内容の決定 調査方法について決定 調査のスケジュールの確認 	緊急事態宣言の発令に伴い 書面決議

(調査実施)

4	3	3	22	月	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果(速報)の共有 新年度の会のスケジュール案の確認 	緊急事態宣言の発令に伴い 書面決議
---	---	---	----	---	---	----------------------

(年度の切替)

回	年	月	日	曜日	検討内容	備考
5	3	6	23	水	<ul style="list-style-type: none"> 新委員の紹介 調査結果の共有(業者作成データ) 調査結果から見えてくる二学期制の「成果と課題」について意見交換 次回の前までに調査結果の考察について、委員から更なる意見がある場合は事務局が集約 	
6	3	9	28	火	<ul style="list-style-type: none"> 事務局から報告書の項目案と内容の方向性を提案 調査結果の事務局考察案の提案及び意見交換「二学期制の成果と課題」 	
7	3	10	26	火	<ul style="list-style-type: none"> 報告書第1案の確認と意見交換(大体について、検証委員で共通認識) 	
8	3	11	30	火	<ul style="list-style-type: none"> 報告書第2案の確認と改善 	
9	4	1	12	火	<ul style="list-style-type: none"> 二学期制検証報告書の内容について最終確認 検証委員会の報告書をもって、教育委員会の報告とする旨の承認 	

○開始時刻：どの回も原則18時開始とし、1時間30分程度とする。

※ 当初7月21日及び8月31日に委員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されていたのに伴い期間を延期した。

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

令和3年2月

北区立学校二学期制検証委員会

日頃より、皆様には、北区の教育行政並びに学校運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成14年、完全学校週5日制が始まり、同時に、「総合的な学習の時間」の創設やゆとりの中で、「特色ある教育」を展開し、子どもたちの「生きる力」の育成を基本的なねらいとする改訂学習指導要領が実施されました。

これを受け、北区教育委員会は、「生きる力」を育むうえでの授業時数確保などの課題解決に資するため、長期的な期間で「ゆとり」ある教育活動を展開することを目的に、「二学期制」について、平成15年度から17年度までの試行期間を経て、平成18年度から、区立小・中学校、幼稚園において、一斉に導入いたしました。導入に当たっての考え方は、次のとおりです。

＜二学期制の導入時における基本的考え方＞

- 一つの学期を長期的なサイクルで捉え、「ゆとり」の中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。
- 学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。
- 長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

この二学期制については、導入から15年目に入っており、平成30年度に実施した「北区教育ビジョン2020」策定に関するアンケート調査等において、教員や保護者の満足度に差が見られる結果も出ていることから、本年度、学識経験者、教員代表、保護者代表などによる「北区立学校二学期制検証委員会」を設置して、検証を行っております。

つきましては、本検証委員会での議論の参考とするため、教員、学校評議員の皆様に対し、下記により、アンケート調査を実施させていただきます。皆様には、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本アンケートにご回答いただきたく、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、保護者に対しても別途アンケート調査を実施しています。

記

1 アンケートの目的

二学期制の成果等を検証し、今後の教育施策の改善・充実に資する。

2 実施対象

(1) 教員

- 所属
- 職層(校長・園長・副校長・副園長・主幹教諭・主任教諭・教諭・主任養護教諭・養護教諭・臨時的任用教諭)
- 氏名
- 北区で教員を何年経験しているか
A 1年間未満 B 2～5年間 C 6～10年間 D 11～15年間 E 16年間以上
- 三学期制を経験しているか
(経験している・経験していない)

(2) 学校評議員

- ・ 学校名
- ・ 氏名

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

本アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等について述べたものです。

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、現在の二学期制の効果や課題等について伺います。各設問について、当てはまる項目を選んでください。

※三学期制を経験されている方は、可能な限り経験を踏まえてご回答ください。

1 教育時間の確保に関して

①始業式や終業式など行事等の減少により教育時間が増加し、遊びを通じた教育の充実を図ることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、その結果として教育時間を確保することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

①長期休業日に対する子どもの生活面への事前指導をきめ細かく実施することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②長期休業日前の学期末事務が減少し、その分保育の充実に向けることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③長期休業日が学期中に位置付くことによって、一年間を通じた連続的・発展的な学びを実施することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

①学期の長期化により、子ども一人一人の成長や変容について、多面的に評価することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②個人面談等では、保護者に子ども個々の園における生活の状況を丁寧に伝えることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

①長期休業日に向けた園からの配布物や来園の機会提供（プール開放等）により、園は子どもの主体的な学びの時間を設定することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①教育活動において、指導と評価の改善に努めている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

6 評価の伝達について

- ①子どもたちの成長の状況を保護者に伝える方法は、面談や手紙の作成などで工夫ができています。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

- ①秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を超えて練習の日程等を組まなければならない。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 その他について

- ①あなたが感じる二学期制のメリット、デメリットを教えてください。

○メリット

○デメリット

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

本アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等について述べたものです。

北区における二学期制は、今年度で15年間に経過します。今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、現在の二学期制の効果や課題等について伺います。各設問について、当てはまる項目を選んでください。

※三学期制を経験されている方は、可能な限り経験を踏まえてご回答ください。

1 授業時数の確保に関して

①始業式や終業式など行事等の減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、その結果として授業時数を確保することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

①長期休業日に対する子どもの学習面・生活面への事前指導をきめ細かく実施することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②長期休業日前の評価等の学期末事務が減少し、その分授業の充実に向けることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③長期休業日が学期中に位置付くことによって、一年間を通した連続的・発展的な学習や学習内容の定着のための学習を促すことができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

①学期の長期化により、子ども一人一人に対する学習内容の定着状況や変容について、多面的に評価することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②個人面談等では、保護者に子ども個々の学校における学習や生活の状況を丁寧に伝えることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

①長期休業日中に、学習の基礎・基本の定着を図るための時間を設定することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②子どもが長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①授業等教育活動において、指導と評価の改善に努めている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②自校において、ここ数年間をみると確かな学力が定着してきていると感じる。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

6 通知表が減ることの影響に関して

①子どもたちの学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表の作成、評定だけを記載した成績表の作成などの工夫ができています。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表の回数が減ることにより、通知表作成の時間を面談の準備に使うことができ、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く時間の確保にもつながっている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

①秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習の日程等を組まなければならない。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表が2回に対する保護者の不安がある。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 その他について

①あなたが感じる二学期制のメリット、デメリットを教えてください。

○メリット

--

○デメリット

--

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等について述べたものです。

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、現在の二学期制の効果や課題等について伺います。各設問について、当てはまる項目を選んでください。

※三学期制を経験されている方は、可能な限り経験を踏まえてご回答ください。

1 授業時数の確保に関して

①始業式や終業式など行事等の減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、その結果として授業時数を確保することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

①夏季休業日の補充学習や三者面談の事前準備を十分に進めることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②一人一人の生徒の学習面・生活面等の評価資料や情報の収集に十分時間をかけることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

①学期の長期化により、授業の創意工夫が一層促進されている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②学習の定着状況や生徒の変容について、多様な評価方法による評価を行うことができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③定期テストの回数が減っても、その分の授業時数が増えるため、授業の中で、小テストや実技テストを行ったり、生徒の学習の様子を継続的に観察したりするなど、きめ細かな評価を行うことができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

①補充教室等を実施し、基礎学力の確かな定着を図ることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②学習の進め方等について細かな指導を行い、学習意欲の喚起を促すことができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③生徒は夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①教員は、授業等教育活動において、指導と評価の改善に努めている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②ここ数年間をみると、自校において、生徒の確かな学力が定着してきていると感じる。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

6 通知表の回数が減ることの影響に関して

①生徒の学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表の作成、評定だけを記載した成績表の作成などの工夫ができています。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表の回数が減ることにより、通知表作成の時間を面談の準備に使うことができ、保護者が生徒の様子を詳細に教員から聞く時間の確保にもつながっている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

①定期テストの範囲が広がり、生徒が負担を感じている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習の日程等を組まなければならない。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③通知表が2回に対する保護者の不安がある。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

④中学校3年生に関しては、10月の1学期末に加えて、12月に内申（成績）を出さなければならないので、三学期制より二学期制のほうが成績を出す手間が多い。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 高校受験に関して

①高校受験に関して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方などで有効な制度だと思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

9 その他について

①あなたが感じる二学期制のメリット、デメリットを教えてください。

○メリット

--

○デメリット

--

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

令和3年2月

北区立学校二学期制検証委員会

日頃より、皆様には、北区の教育行政並びに学校運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成14年、完全学校週5日制が始まり、同時に、「総合的な学習の時間」の創設やゆとりの中で、「特色ある教育」を展開し、子どもたちの「生きる力」の育成を基本的なねらいとする改訂学習指導要領が実施されました。

これを受け、北区教育委員会は、「生きる力」を育むうえでの授業時数確保などの課題解決に資するため、長期的な期間で「ゆとり」ある教育活動を展開することを目的に、「二学期制」について、平成15年度から17年度までの試行期間を経て、平成18年度から、区立小・中学校、幼稚園において、一斉に導入いたしました。導入に当たっての考え方は、次のとおりです。

＜二学期制の導入時における基本的考え方＞

- 一つの学期を長期的なサイクルで捉え、「ゆとり」の中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。
- 学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。
- 長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

この二学期制については、導入から15年目に入っており、平成30年度に実施した「北区教育ビジョン2020」策定に関するアンケート調査等において、教員や保護者の満足度に差が見られる結果も出ていることから、本年度、学識経験者、教員代表、保護者代表などによる「北区立学校二学期制検証委員会」を設置して、検証を行っております。

つきましては、本検証委員会での議論の参考とするため、保護者の皆様に対し、下記により、アンケート調査を実施させていただきます。皆様には、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本アンケートにご回答いただきたく、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、教員に対しても別途アンケート調査を実施しています。

記

1 アンケートの目的

二学期制の成果等を検証し、今後の教育施策の改善・充実に資する。

2 留意事項等

区立幼稚園、さくらだこども園、区立小学校、区立中学校別に幼児・児童・生徒が在籍している場合は、在籍している校種ごとに回答する。

- ・ 学校名
- ・ 何年生等の保護者か（同校園種に兄弟姉妹がいる場合は、上の学年）
- ・ 氏名

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

園名() 何歳児(お子様)()歳児 保護者名()

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。本アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等から、保護者の皆様が回答しやすいものを考慮して作成したものです。

今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、各設問について保護者の皆様はどう感じられていますか。現在のご自身のお子様の様子を踏まえて、各設問について当てはまる項目を選んでください。

1 教育時間の確保に関して

①始業式や終業式など行事等の減少により教育時間が増加しています。園は遊びを通じた教育の充実を図ることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

①園は、長期休業日に対する子どもの生活面への事前指導をきめ細かく実施できていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

①個人面談等により、教員は保護者に子ども個々の園における遊びを通じた学びや生活の状況を丁寧に伝えることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

①長期休業日に向けた園からの配布物や来園の機会提供（プール開放等）により、園は子どもの主体的な学びの時間を設定できていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①二学期制は、どんなことに効果があると思いますか。あなたの考えと近いと思うものを1～3つまで選んでください。

()学力向上 ()子どもの知識や技能の獲得 ()子どもの考える力や表現力の向上
 ()子どもの生活力の向上 ()子どもの人間関係形成力の向上 ()子どもの遊びの充実
 ()園の教育活動の充実 ()教員の評価等指導の充実
 ()その他()

6 評価の伝達について

①子どもたちの成長の状況を保護者に伝える方法は、面談や手紙の作成などで工夫がされていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②面談等、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く機会が確保されていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 その他について

①現在の北区立学校・園の二学期制に関して、ご意見があれば、ご記入ください。

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

学校名() 学年(お子様)()年生 保護者名()

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。本アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等から、保護者の皆様が回答しやすいものを考慮して作成したものです。

今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、各設問について保護者の皆様はどう感じられていますか。現在のご自身のお子様の様子を踏まえて、各設問について当てはまる項目を選んでください。

1 授業時間の確保に関して

①始業式や終業式など行事等の減少により授業時間が増加しています。学校は授業の充実を図ることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

①学校は、長期休業日に対する子どもの学習面・生活面への事前指導をきめ細かく実施することができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

①個人面談等を充実させることにより、教員は保護者に子ども個々の学校における学習や生活の状況を丁寧に伝えることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

①子どもは長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②二学期制は、子どもの夏季休業日中の生活を変えるきっかけとなっていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①二学期制は、どんなことに効果があると思いますか。あなたの考えと近いと思うものを1～3つまで選んでください。

()学力向上 ()子どもの知識や技能の獲得 ()子どもの思考力や表現力の向上

()子どもの生活力の向上 ()子どもの人間関係形成力の向上

()子どもの遊びの充実 ()学校の教育活動の充実 ()教員の評価等指導の充実

()その他 ()

6 通知表が減ることについて

①子どもたちの学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表、
評定の記載など工夫されていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②面談等、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く機会が確保されていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

①通知表が2回であると、保護者として不安ですか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 その他について

①現在の北区立学校の二学期制に関して、ご意見があれば、ご記入ください。

--

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

学校名() 学年(お子様)()年生 保護者名()

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。本アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等から、保護者の皆様が回答しやすいものを考慮して作成したものです。

今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、各設問について保護者の皆様はどう感じられていますか。現在のご自身のお子様の様子を踏まえて、各設問について当てはまる項目を選んでください。

1 授業時間の確保に関して

- ①始業式や終業式など行事等の減少により授業時間が増加しています。学校は授業の充実を図ることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

- ①学校は、長期休業日に対する子どもの学習面・生活面への事前指導をきめ細かく実施することができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

- ①個人面談等を充実させることにより、教員は保護者に子ども個々の学校における学習や生活の状況を丁寧に伝えることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

- ①子どもは長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

- ②二学期制は、子どもの夏季休業日中の生活を変えるきっかけとなっていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

- ③子どもは夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

- ①二学期制は、どんなことに効果があると思いますか。あなたの考えと近いと思うものを1～3つまで選んでください。

()学力向上 ()子どもの知識や技能の獲得 ()子どもの思考力や表現力の向上
 ()子どもの生活力の向上 ()子どもの人間関係形成力の向上
 ()学校の教育活動の充実 ()教員の評価等指導の充実
 ()その他 ()

6 通知表が減ることについて

①子どもたちの学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表、評定の記載など工夫されていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②面談等、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く機会が確保されていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

①定期テストの範囲が広がり、子どもが負担を感じていると思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表が2回であると、保護者として不安ですか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 高校受験に関して

①高校受験に関して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方などで有効な制度だと思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

9 その他について

①現在の北区立学校の二学期制に関して、ご意見があれば、ご記入ください。

--

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

令和3年2月

北区立学校二学期制検証委員会

日頃より、皆様には、北区の教育行政並びに学校運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成14年、完全学校週5日制が始まり、同時に、「総合的な学習の時間」の創設やゆとりの中で、「特色ある教育」を展開し、子どもたちの「生きる力」の育成を基本的なねらいとする改訂学習指導要領が実施されました。

これを受け、北区教育委員会は、「生きる力」を育むうえでの授業時数確保などの課題解決に資するため、長期的な期間で「ゆとり」ある教育活動を展開することを目的に、「二学期制」について、平成15年度から17年度までの試行期間を経て、平成18年度から、区立小・中学校、幼稚園において、一斉に導入いたしました。導入に当たっての考え方は、次のとおりです。

＜二学期制の導入時における基本的考え方＞

- 一つの学期を長期的なサイクルで捉え、「ゆとり」の中で児童・生徒一人一人が連続的・発展的な学習活動ができる指導を推進する。
- 学期の長期化を生かし、児童・生徒一人一人の学習到達度を多面的視点から捉え、評価の改善に生かす。
- 長期休業を一つの学期のサイクルで捉え、児童・生徒一人一人の課題設定による自主学習や課題研究など自ら学ぶ意欲と態度を育成する機会とする。

この二学期制については、導入から15年目に入っており、平成30年度に実施した「北区教育ビジョン2020」策定に関するアンケート調査等において、教員や保護者の満足度に差が見られる結果も出ていることから、本年度、学識経験者、教員代表、保護者代表などによる「北区立学校二学期制検証委員会」を設置して、検証を行っております。

つきましては、本検証委員会での議論の参考とするため、教員、学校評議員の皆様に対し、下記により、アンケート調査を実施させていただきます。皆様には、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本アンケートにご回答いただきたく、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、保護者に対しても別途アンケート調査を実施しています。

記

1 アンケートの目的

二学期制の成果等を検証し、今後の教育施策の改善・充実に資する。

2 実施対象

(1) 教員

- 所属
- 職層(校長・園長・副校長・副園長・主幹教諭・主任教諭・教諭・主任養護教諭・養護教諭・臨時的任用教諭)
- 氏名
- 北区で教員を何年経験しているか
A 1年間未満 B 2～5年間 C 6～10年間 D 11～15年間 E 16年間以上
- 三学期制を経験しているか
(経験している・経験していない)

(2) 学校評議員

- 学校名
- 氏名

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

小学校名（ ） お名前（ ）

本アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等について述べたものです。

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、現在の二学期制の効果や課題等について伺います。各設問について、当てはまる項目を選んでください。

※三学期制を経験されている方は、可能な限り経験を踏まえてご回答ください。

1 授業時数の確保に関して

①始業式や終業式など行事等の減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、その結果として授業時数を確保することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

①長期休業日に対する子どもの学習面・生活面への事前指導をきめ細かく実施することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②長期休業日前の評価等の学期末事務が減少し、その分授業の充実に向けることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③長期休業日が学期中に位置付くことによって、一年間を通した連続的・発展的な学習や学習内容の定着のための学習を促すことができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

①学期の長期化により、子ども一人一人に対する学習内容の定着状況や変容について、多面的に評価することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②個人面談等では、保護者に子ども個々の学校における学習や生活の状況を丁寧に伝えることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

①長期休業日中に、学習の基礎・基本の定着を図るための時間を設定することができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②子どもが長期休業日を使って、長期的視野に立った体験的・問題解決的な学習を進めることができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①授業等教育活動において、指導と評価の改善に努めている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②自校において、ここ数年間をみると確かな学力が定着してきていると感じる。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

6 通知表が減ることの影響に関して

①子どもたちの学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表の作成、評定だけを記載した成績表の作成などの工夫ができている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表の回数が減ることにより、通知表作成の時間を面談の準備に使うことができ、保護者が子どもの様子を詳細に教員から聞く時間の確保にもつながっている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

①秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習の日程等を組まなければならない。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表が2回に対する保護者の不安がある。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 その他について

①あなたが感じる二学期制のメリット、デメリットを教えてください。

○メリット

--

○デメリット

--

北区立学校及び園における「二学期制」についてのアンケート

中学校名（ ） お名前（ ）

アンケートの各設問は、北区立学校・園に二学期制を導入した際にまとめた効果や課題等について述べたものです。

北区における二学期制は、今年度で15年間が経過します。今後、教育活動の充実・改善に結び付けるために、現在の二学期制の効果や課題等について伺います。各設問について、当てはまる項目を選んでください。

※三学期制を経験されている方は、可能な限り経験を踏まえてご回答ください。

1 授業時数の確保に関して

- ①始業式や終業式など行事等の減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない
- ②行事及びその準備等に充てる時間の精選を図り、その結果として授業時数を確保することができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

2 長期休業日前後の指導に関して

- ①夏季休業日の補充学習や三者面談の事前準備を十分に進めることができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない
- ②一人一人の生徒の学習面・生活面等の評価資料や情報の収集に十分時間をかけることができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

3 評価の改善に関して

- ①学期の長期化により、授業の創意工夫が一層促進されている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない
- ②学習の定着状況や生徒の変容について、多様な評価方法による評価を行うことができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない
- ③定期テストの回数が減っても、その分の授業時数が増えるため、授業の中で、小テストや実技テストを行ったり、生徒の学習の様子を継続的に観察したりするなど、きめ細かな評価を行うことができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

4 自ら学ぶ意欲と態度の育成に関して

- ①補充教室等を実施し、基礎学力の確かな定着を図ることができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない
- ②学習の進め方等について細かな指導を行い、学習意欲の喚起を促すことができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない
- ③生徒は夏季休業日後の定期考査を意識して、計画的に学習を進めることができている。
ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

5 学力向上に関して

①教員は、授業等教育活動において、指導と評価の改善に努めている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②ここ数年間をみると、自校において、生徒の確かな学力が定着してきていると感じる。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

6 通知表の回数が減ることの影響に関して

①生徒の学習状況を保護者に伝える方法は、通知表だけではなく、面談の工夫、ミニ通知表の作成、評定だけを記載した成績表の作成などの工夫ができています。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②通知表の回数が減ることにより、通知表作成の時間を面談の準備に使うことができ、保護者が生徒の様子を詳細に教員から聞く時間の確保にもつながっている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

7 デメリットに関して

①定期テストの範囲が広がり、生徒が負担を感じている。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

②秋に運動会を計画している場合など、行事によって学期を越えて練習の日程等を組まなければならない。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

③通知表が2回に対する保護者の不安がある。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

④中学校3年生に関しては、10月の1学期末に加えて、12月に内申（成績）を出さなければならないので、三学期制より二学期制のほうが成績を出す手間が多い。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

8 高校受験に関して

①高校受験に関して、二学期制が通知表や内申書、冬季休業日の使い方などで有効な制度だと思いますか。

ア 思う イ やや思う ウ やや思わない エ 思わない オ 分からない

9 その他について

①あなたが感じる二学期制のメリット、デメリットを教えてください。

○メリット

--

○デメリット

--

【参考資料⑤】

平成18年4月から 北区立小・中学校及び幼稚園で

二学期制が始まります

区民・保護者の皆様へ

北区教育委員会では、平成15年度から試行校を定め二学期制について研究・検討を進めてきました。

平成15・16年度には、区立学校長や保護者の代表からなる二学期制検討委員会をつくり、二学期制の成果等について検討を重ね、最終報告が出されました。

教育委員会は試行校の成果及び検討委員会からの報告を受け、慎重に検討を重ねた結果、平成18年4月から二学期制を導入することにいたしました。

☆ 二学期制実施のねらいは、子どもたちひとりひとりのよさを伸ばす教育を一層充実させることです。

☆ 二学期制とは、1年間を3つの学期に分ける現在の三学期制に対して、2つの学期に分ける制度のことです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春始入 休業学 み式式				夏 休 み					冬 休 み		卒終春 業了休 式式式 み
一学期						二学期					

※ 春休み・夏休み・冬休みの日程は今までどおりです。

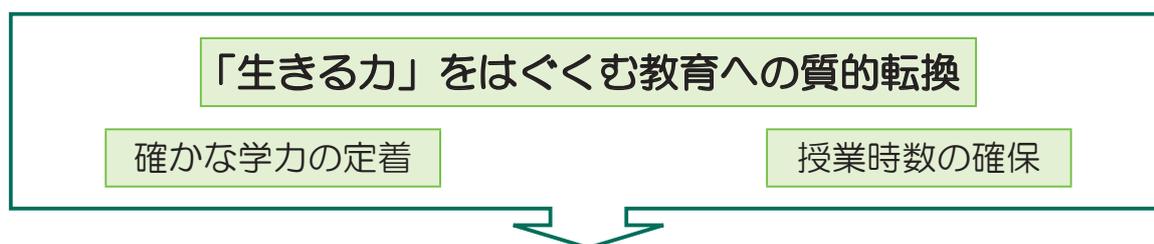
☆ 学区の区切り（平成18年10月）

平成18年 10月 OCTOBER カレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 一学期 終業式	7 秋休み
8 秋休み	9 体育の日 秋休み	10 二学期 始業式	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



平成17年11月
東京都北区教育委員会

☆ 二学期制導入の背景と基本的な考え方



- 一つの学期を長くすることにより、長い期間の中で子どもたち一人一人が補足的な学習や発展的な学習にじっくり取り組むことができるようにする。
- 学期の長期化を生かし、子どもたち一人一人の学習到達度や「よさ」を多面的にとらえ、学習評価の充実を図る。
- 最期休業日（夏休み等）を学期中ととらえ、子どもたち一人一人のにに応じた自主学习や課題研究などを通して、自ら学ぶ意欲と態度を育成する。

☆ 二学期制導入のメリット

授業時数を十分に確保することができます。

- 始業式や終業式など行事などの減少により授業時数が増加し、授業の充実を図ることができます。
- 行事の準備に当てる時間等を削らなくても、授業時数を無理なく増やすことができます。

長期休日（夏休み等）を有効に活用することができます。

- 学校は長期休業日に、学習の基礎・基本の定着を図るための時間を設定したり、子どもたち一人一人に応じた課題を与えたりしやすくなります。
- 子どもたちの長期休日の過ごし方について、一人一人に応じて、学校でいねいに指導することができます。

学習評価の充実を図ることができます。

- 学期の長期化を生かして、子どもたち一人一人の学習状況を、様々な観点から継続的に評価することができます。
- 面談等の充実を図ることが容易になり、保護者に子どもたちの学校における学習や生活の状況でいねいに伝えることができます。

時間的なゆとりを子どもたちに還元できます。

- 長期休日前の通知表作成等の学期末事務が減少し、教員が子どもたちと接する時間が増えます。
- 教員はその増えた時間を授業や長期休業日の事前指導の充実に向けることができます。

☆ 二学期制に関する Q & A

Q1 二学期制を導入したら、学力は向上するのですか？

A1 北区教育委員会では、二学期制を導入すれば、すぐにでも学力が向上するとは考えていません。

三学期制から二学期制に教育の枠組みを変えることが指導と評価の改善など学校の創意工夫を促すことにつながり、学校教育が活性化されるものと考えます。

試行校の実践を見ますと二学期制導入を契機として、日常の教育に対する様々な工夫・改善がなされており、学力の向上にもつながっています。

北区教育委員会は二学期制の導入が更なる学校改善のきっかけとなり、各学校の創意工夫がはっいされ、学校教育が一層充実することを目指しています。

Q2 長期休日（夏休み等）は、どのようになるのですか。

A2 長期休業日について変更はありません。秋季休業日（秋休み）については暦どおり、10月の第2月曜日とその直前の土・日曜日の3日間といたします。

なお、北区教育委員会では、平成19年度に中学校で、平成20・21年度には小学校で、それぞれ普通教室を冷房化する計画を進めています。

冷房化が完了した後、長期休業日の期間、時期等について改めて検討することになっています。

Q3 長期休業日の子どもたちへの指導について何か変わることはありますか。

A3 これまでは、多くの場合、子どもたちを家庭に帰すという考えのもとに、長期休業日が位置づけられておりました。これからは夏季休業日や冬季休業日を確かな学力の向上や心身の発達のために活用するという新しい考えで各学校が創意工夫を凝らすこととなります。

試行校でも、学習相談日等の設定や面談等における教育相談など様々な実践が行われています。『子どもの学びに休みなし』を基本的な考えとして取り組みを進めてまいります。

Q4 夏休み前に通知表を発行しないで、保護者や子どもたちに不安はないのでしょうか。

A4 二学期制では、子どもたちは通知表をもらわずに夏休みに入ることになります。しかし、試行校では面談の工夫や充実、ミニ通知表の作成、評定だけ記載した成績表の作成などの取り組みをすることにより、保護者や子どもたちの不安を解消することができました。

また、夏休み中に面談を行った試行校では、学期末の通知表作成の時間を面談の準備に使うことができたため、保護者からは「子どもの状況を詳しく先生から聞くことができてよかった。」という声が数多く寄せられています。

Q5 中学校ではテストの回数が減り、正確な評価ができなくなるのではないのでしょうか。

A5 子どもたちの学習状況を的確に評価するためには、定期テストに加え、日常の授業の中で、関心・意欲・態度や思考・判断などを多面的に評価することが必要です。定期テストの回数が減っても、授業時数が増えますので、授業の中で、小テストや実技テストを行ったり、子どもたちの学習の様子を継続的に観察したりするなど、きめ細かな評価を行うことができます。

また、試行校では定期テストの他に到達度テスト等を行っております。こうした取り組みにより保護者からの不安の声は上がっていないことが報告されています。

高校受験につきましては、これまでどおり4月から12月までの学習状況を総合的に評価して内申書を作成しますので、変わりありません。

Q6 二学期制になると、給食の回数はどうなりますか。

A6 午後まで授業を実施する日は増えてますが、家からお弁当を持参しなければならに日が増えるわけではありません。なお、北区教育委員会では、平成18年度より年間の標準給食回数を小学校、中学校ともに年間5回程度、増やすことにしています。

Q7 二学期制になると、学校（園）行事は変わるのですか。

A7 日程の小さな変更は考えられますが、全体的には、大きな変更はありません。

Q8 区立幼稚園及び小・中学校が一斉に、二学期制になるのですか。

A8 学校ファミリー間の諸行事や地域行事等を考慮しますと、きょうだいと同じ学期制になることが望ましいと判断しています。

平成18年4月1日から、北区内のすべての区立幼稚園、小学校、中学校で二学期制を導入します。

